

ありまふじ里山だより

Vol.31

『ありまふじ里山だより』では、棚田里山エリアの自然の様子や里山保全に向けた取り組みについてご紹介します。Vol.31は里守の会の活動の様子と里山で見つけたいきものの痕跡についてお届けします。

里守の会、活動日！

ひさしぶりの山の活動日。里山散策ルートやため池堰堤の斜面に生えたササを刈り、低木を伐採しました。ここは去年もササ刈りしたところで、見た目にはすっかりササが再生していたものの、草丈も小さく、草勢を抑えられているようです。

活動の最後には畑に移動して、大豆の種まき。これで予定していた畑全体の植え付けがすべて完了！

福島大池の彼方には入道雲がモコモコと空高く発達し、いよいよ本格的な夏の到来が近そうです。

モリアオガエルの卵塊！

里山のなかにあるため池では、水面に張り出した枝先に白い泡状の卵塊がぶら下がっています。

真っ白い新しそうなものから、少し黒ずんで形も崩れ始めているものまで。確認出来ただけでも4個ありました。

樹上に産卵するという変わった習性もアライグマなどからの捕食を免れるためともいわれています。そういえば棚田でこんな足跡がありましたが、もしやアライグマ!?

